

読書ボランティア研修会

職員研修

有志指導者研修

要請研修

この研修会は、子どもの読書活動推進のために必要な知識・技能の向上を図ることを目的に、地域や学校図書館のボランティア、図書館職員、学校教職員等を対象に実施しました。90名が受講し、午前は行政説明と講演会、午後は4つの選択研修を通して様々なことを学びました。

【説明】「いわての復興教育絵本『てとてをつないで』」紹介

令和4年に岩手県教育委員会が作成した「いわての復興教育絵本『てとてをつないで』」を、岩手県教育委員会 学校教育室 産業・復興教育担当の桂 康博 主任指導主事より紹介していただきました。就学前からの継続的な「いわての復興教育」の推進という目的について説明いただきました。



桂 康博 氏

【講演会】「ニャーゴの優しさ・ティラノの思いやり」



宮西 達也 氏

『にゃーご』『おまえうまそうだな』『おとうさんはウルトラマン』などで知られる絵本作家の宮西 達也 氏に講演いただきました。ユーモアあふれる話しぶりの中にも「読み手が好きな本を読めば感性が通じる」「子どもたちに本当のおもしろさ、感動を」「ページをめくる行為は、やっぱり楽しい」「子どもたちに肯定的な言葉をかけよう」など印象的な言葉があり、たくさんの受講者が頷いていました。また、「どんな脇役でも一生懸命生きている。一生懸命が一番素敵で素晴らしい」という想いを、自身の読み聞かせ活動でのエピソードとともに伝えてもらいました。

受講者から「読み聞かせの奥深さを学ぶことができた」「読み聞かせの力を信じてこれからも活動していきたい」などの感想が寄せられました。

【選択研修】

午後は4つの選択研修に分かれて行いました。JPIC 読書アドバイザー 平田 純子 氏による「おはなし会を開こう①～小道具を取り入れよう」では、手袋や牛乳パックなど身近な材料で作ることのできる小道具で子どもたちの興味を膨らませ、お話に引き込む工夫を学びました。特定非営利活動法人おはなしころりん 理事長 江刺 由紀子 氏による「おはなし会を開こう②～『てとてをつないで』をどう読むか」では、復興教育絵本についての説明と話し合いを通して、受講者が「どう読むか」を主体的に考えていました。「本の魅力を伝える方法教えます～POPづくり体験」では、岩手県立図書館 永塚 優美子 氏によるPOPづくりの極意とコツの説明、POPの参考例をもとに、お薦め本を紹介するPOPづくりの実習を行ないました。「伝える読み聞かせに必要なこと&実践」では、KOTOSE～言葉のせせらぎ～ 主宰 佐藤 くみこ 氏から、受講者同士で読み聞かせを聞き合う活動等を通して、読み聞かせる側が楽しむ気持ちをもつことの大切さを学びました。



平田 純子 氏



江刺 由紀子 氏



永塚 優美子 氏



佐藤 くみこ 氏

《受講者の声》

- ・作者ならではの作品の読み方や伝え方がとても参考になった。
- ・現代の子どもたちとの関わりの中での大切なことや、絵本を通して読み手と聞き手が得られる宝物のようなものがあることなどを教えていただいた。
- ・とても刺激になり、これからも頑張っていきたいと思った。

《受講者の評価》

A(有意義)	83.7%
B(どちらかといえば有意義)	14.0%
C(どちらかといえば有意義でない)	2.3%
D(有意義でない)	0%

《担当者(高橋)から》

受講者の皆さんが楽しそうに、そして意欲的に講演会や選択研修に参加する様子が印象的でした。今回の研修会で、知識・技能はもちろん、今後の活動への意欲がさらに高まったのであれば幸いです。